

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点	
方針・重点 ・挑戦し続ける根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①②③④ 主す地体的・対話的に ・の体変化に ・の協働に ・の対応に ・の郷土教育の推進 ・の環境の充実 ・の教育の推進 ・の教育の推進	進んでやりぬく宮小の子 くやさしく かしこく たくましく	自分の考えをもち、進んで対話できる力	すべての子に居場所と絆を	②	・良さの実感と「太陽作戦」で自分らしく生きる力を育成	A	・児童が「なりたい自分」について保護者と共有するために、目標設定や頑張ったことについて家庭で話し合う機会を大切にしました。児童の「なりたい自分」に向けて頑張っている姿の価値づけや意識づけ、目標設定のあり方などを次年度さらに改善していきます。 ・毎日のかがやき見つけや教育相談活動などの様々な教育活動の中で、児童の良さを価値付けています。自分の良さを知っている児童が多い一方で、まだ自分の良いところを見つけれない児童もいます。今後、さらに、良さの自覚につなげていくよう努めていきます。 ・「スマイルサポーター制度」を活用して相談したい大人を複数選び、相談しやすくしています。今後も、児童や保護者にとってより相談しやすい体制づくりに努めていきます。 ・不登校児童はいませんが、油断することなく積極的な教育相談と安心安全で楽しい学校経営を進めていきます。	
						一人一枚賞状(自己肯定感の育成)	B		
					②	「自分には良いところがある」	B		
						「服をたたむ」と「物を傷つけない指導」	A		
						仲間の輝きをひとつは見つけることができた	B		
					②	・人や物を大切にできる	B		
						自分から挨拶ができる	B		
						・危機管理の組織的な対応	A		
					④	・特別支援教育の充実と要支援児童への支援の充実	A		
						交流授業や居住地校交流でインクルーシブで個と向き合う。必要な児童に必要なタイミングで組織的に支援する。	A		
				・多様性を認め個に応じた支援の充実		A			
				②	・相談活動の充実	B			
					完全不登校0 新規不登校0	A			
					学校内に相談できる大人がいる	B			
					学力に責任を持つ	①	・学習の質を高める		A
							根拠を基に言い切れる児童 児童職員共に		A
				終末に「きらりタイム」が定着した授業改善			A		
				授業が楽しい			B		
				授業が分かる			B		
				授業が分る			B		
				①		基礎・基本的な学力の定着	B		
				①		学習の個別化と指導の個性化を図る	A		
				①		単元を見通した授業改善の実施	A		
				児童(保護者・地域と共に創る)		① ③	キャリア教育の積極的な協働		A
					地域の方の講話、地域での体験活動を充実させる。		A		
③ ④	家庭との連携	A							
	地域の方の力を学校で活かす(クラブ活動)	A							
① ③	地域と連携した総合的な学習	A							
	眠育の推進 早寝早起き朝ごはん	A							
③ ④	非常変災時に自分の命を守る力を高めていく	A							
学校運営協議会における主な評価内容						・子どもたちの授業の姿や数値データ等の説明を聞き、個を大事にした学校教育がなされでおり、その成果が出ていると感じる。 ・1年間の子どもの成長を感じる。学校経営が揺るがずされてきた成果である。一之宮地域があたたかく、改めて学校と地域の取り組みを振り返ると地域のよさを感じた。 ・対話は人間の生きていくためには必ず必要な方法で大事である。 ・教職員の努力が常に高みをめざして感謝している。地域の保小中で一貫して地域の子どものために大切にしてくださる教育はお見事である。上手に育ててもらっている。私たちは学校の応援団である。			